

## 第4群(活動報告)

### リハビリ専門職(理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士)と関係機関・住民との地域協働の推進 ー登米リハビリテーション専門職健康づくり応援団 TomeRe:への支援を通してー

発表者(筆頭者)所属・氏名 東部保健福祉事務所登米地域事務所 技師 小泉善孝  
田代光美, 佐藤千恵, 藤山佳美, 後藤博音

キーワード: 地域包括ケアシステム, 地域づくり, リハビリ専門職, 関係機関・住民との協働

**I はじめに** 介護保険制度では, 地域における介護予防の機能強化のため, 住民運営の通いの場へのリハビリ専門職の関与, 市町村が高齢者の自立支援に取り組むようリハビリ専門職と連携した介護予防の実施が促されている。しかし, 登米管内においては, リハビリ専門職同士, リハビリ専門職と登米市, 地域包括支援センター, 社会福祉協議会等の関係機関・住民と連携した取組が十分とはいえない現状があった。そこで当所では, リハビリ専門職と関係機関・住民が協働し, 効果的な介護予防・健康づくりに取り組める地域を目指し, 地元のリハビリ専門職の自主活動グループの立ち上げ支援や関係機関・住民との地域協働の推進を継続して行ってきたので, 報告する。

**II 方法** リハビリ専門職及び関係者との顔の見える関係づくりや地域活動参加への意識啓発に取り組み, 地元のリハビリ専門職の自主活動グループの立ち上げとともに関係機関・住民と協働した地域活動を展開できるよう支援した。

## III 活動内容

- 1 登米圏域 PT・OT・ST 所属紹介カードの作成  
平成 27 年度からリハビリ専門職と関係機関・住民の顔の見える関係づくりの一助として「登米圏域 PT・OT・ST 所属紹介カード」を作成し, リハビリ専門職, 関係機関・住民へ幅広く周知している。
- 2 登米圏域 PT・OT・ST ワークショップ, 企画会議の開催  
平成 27・28 年度に, 管内の志・熱意あるリハビリ専門職から企画委員を選出の上, 通年での検討テーマを「地元のリハビリ専門職の立場から住民と地域で一緒にできること」と設定し, 月 1 回企画会議を開催した。また企画会議で検討したことをリハビリ専門職・関係機関と共有するためのワークショップを開催した。
- 3 地元のリハビリ専門職による自主活動グループの立ち上げ支援  
平成 29 年 7 月に平成 28 年度までの企画委員を中心とした自主活動グループ「登米リハビリテーション専門職健康づくり応援団 TomeRe:」の立ち上げを支援した。「地元の資源を活かし, 関係機関等と協働のうえ, 住民, 関係者の地域での健康づくり, 介護予防活動を応援する」をコンセプトに活動を開始。関係機関・住民からの依頼に基づき, 「TomeRe:ミーティング」の中での調整を経て, 地域で活動している。
- 4 TomeRe:活動支援・PR  
平成 30 年度の TomeRe:の活動は, 登米市介護予防事業を中心に, 登米市と協働した地域活動に取り組んでいる。当所は, TomeRe:の活動支援に加え, 関係機関との繋ぎ・調整等, TomeRe:の活動が関係機関と連動し円滑に展開されるよう後方支援に力を入れている。

**IV 考察** 本取組を通し, リハビリ専門職間, リハビリ専門職と関係機関との顔の見える関係が構築され, さらに TomeRe:というリハビリ専門職の自主活動グループが立ち上がり, 関係機関や住民と協働して介護予防や健康づくりの活動を行うまでに至った。また, TomeRe:の地域活動を通し, 地元のリハビリ専門職の存在や役割が関係機関・住民に認識され, 効果的な介護予防・健康づくりの取組へと繋がりがつつある。

地元の既存の資源を活かし, 志や熱意ある人材と関係機関が繋がるきっかけを作り, リハビリ専門職の自主活動グループの立ち上げを支援した一連の取組は, 登米市の地域包括ケアシステムにおける介護予防, 暮らしを支える土台, 住民が主体的に取り組む健康づくりの一助として有効であった。

**V おわりに** 今後も TomeRe:への支援を継続し, リハビリ専門職の TomeRe:への参加拡大が図られ, TomeRe:の地域活動における体制づくりを TomeRe:や関係機関と検討していくことが必要である。そして, この体制づくりを通し, リハビリ専門職のスムーズな地域参画や地域貢献へと繋がり, 関係機関・住民の効果的な介護予防・健康づくりが継続して実現できる地域を目指していきたい。